

第1回「まい研」地域調査活動（要綱）

行け行け！かまぼこ調査隊

～地元の良さを調べる！「舞鶴のかまぼこ」～

1. 概要

- (1) テーマ 「舞鶴のかまぼこ」についての地域調査
- (2) 主催 まいづる市民自治研究所【まい研】(代表 品田茂)
- (3) 協力者(アドバイザー)
岡田知弘さん(京都大学大学院経済学研究科教授)
大貝健二さん(京都大学大学院経済学研究科博士後期課程、経済動態分析専攻)
辻義雄さん(舞鶴蒲鉾協同組合参事)

2. 目的

- (1) かまぼこについての商品知識を広げることを通じて、かまぼこへの愛着をよりいっそう深めたい。
- (2) 蒲鉾の舞鶴地域における生産、流通、消費の状況を調査することを通じて、地域経済のなかでの蒲鉾の経済的位置を把握する。同時に、蒲鉾の舞鶴地域での経済、文化、生活上の重要性を再発見できるような調査活動としたい。
- (3) これらの調査・分析・政策提起によって、安心・安全な地元の蒲鉾の消費向上、地域振興につなげたい。

3. 調査内容

- (1) 文献調査
- (2) ヒアリング調査
生産加工業者(協同組合の5社: 株嶋七、高作商店、藤六商店、株嶋岩、丸海株)
流通業者、販売業者(スーパー、土産物産など) 消費者(市民、料理店など)
関係団体(行政機関、蒲鉾協同組合など)
- (3) かまぼこ政策の活発な地域への現地調査

4. 大まかなスケジュール

- (1) 調査チーム募集(広く市民に公募する)
- (2) 調査チーム会議【4月27日(日)】
調査の目的、内容、日程、参加者、協力者、経費を決め、調査計画書を作成する。
基礎的な学習(蒲鉾の講師: 辻義雄さん、地域調査の講師: 大貝健二さん)
- (3) 予備調査【5月上旬まで】 文献調査、予備調査
- (4) ヒアリング項目の設定、調査依頼(関係団体・関係者)【5月上旬】
- (5) ヒアリング調査の実施【5月下旬～6月上旬】
- (6) 調査結果第1次報告会【6月下旬】
- (7) 報告書作成・印刷
- (8) 報告集会(政策提言含む)【9月中旬】

5. その他

- (1) 「かまぼこと地域調査の説明会」の開催(調査チーム会議)
日時 4月27日(日)13:30～17:00 西駅交流センター2F第1会議室
内容 舞鶴のかまぼこ(辻義雄さん)、地域調査の方法(大貝健二さん)、調査票づくり
- (2) 調査参加費 1000円(資料代、会場使用料に使用します)
- (3) 連絡先 まいづる市民自治研究所 代表 品田茂(090-8829-7670)